

令和4年11月22日

修成建設専門学校
校長 堤下 隆司 様

学校関係者評価委員会
委員長 藤田 晴樹

学校関係者評価委員会報告

令和3年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 評価者

令和4年度 学校法人修成学園 学校関係者評価委員

委員名簿（敬称略・順序不同）	
鈴木 邦彦	株式会社富島建設 専務取締役管理部長
土井 啓安	在学生 父母
丸山 徹	卒業生 父母
森本 起三子	修成学園 評議員
相賀 勝	元吹田市理事
大槻 憲章	NPO 法人 おおさか緑と樹木の診断協会 理事長
大和 正	学校法人興國学園 興國高等学校 渉外顧問統括 校務運営委員長
田中 文雄	大和田振興町内会 会長
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役

2. 評価期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日

3. 委員会の開催状況

第一回委員会 令和4年10月27日（会場 修成建設専門学校 129 教室）
第二回委員会 令和5年2月14日（会場 修成建設専門学校 129 教室・実施予定）

4. 学校関係者評価委員会報告

令和4年10月27日に開催された委員会において、修成学園山下理事長、堤下学校長、さらに各学科長より、令和3年度の業務について自己評価報告書に基づき報告を受け、評価内容の確認を行った。また委員各自が、自己評価報告書に示されている評価項目に対し「自己評価結果」「改善に向けた取り組み」「今後の改善方策」について採点(4点満点)を行い、その結果を示した。さらに、委員各位からの意見をとりまとめ報告書とする。

5. 採点結果(平均値)

調査項目	自己評価 結果	改善に向けた 取り組み	今後の 改善方策
基準1(教育理念・目的・育成人材像)	4.00	4.00	4.00
基準2(学校運営)	4.00	4.00	4.00
基準3(教育活動)	3.89	4.00	4.00
基準4(修学成果)	3.78	4.00	4.00
基準5(学生支援)	4.00	4.00	4.00
基準6(教育環境)	4.00	4.00	4.00
基準7(学生の募集と受け入れ)	3.89	3.89	4.00
基準8(財務)	4.00	4.00	4.00
基準9(法令等の遵守)	4.00	4.00	4.00
基準10(社会貢献)	3.67	3.89	3.89
総計	3.92	3.98	3.99

6. 意見

- ・ 進路決定率、資格試験合格率ともに素晴らしいと思います。学校関係者の熱意とご努力が理解できました。
- ・ 学園の教職員の方々の努力の積み重ねにより、私が評価委員の拝命いただいてから、教学内容や学生支援等のご対応並びに各学科の個別支援も含めまして、大きく改善されてきた事に今回の内容説明から感銘を受けております。就職のミスマッチの件も丁寧なご対応をされており、後はこれらの素晴らしい取り組みをもっと外向けに発信して頂ければと思います。今後も学生第一に発展を遂げられますよう、一層のご努力の積み重ねをお願い致します。
- ・ 教育活動、学修成果でコロナ禍の影響で活動制限があり結果が出ない部分があったかと思えます。今後は経験を改善に生かして学校運営、学生支援を継続し高い就職先の確保に努めて頂きたいと思えます。
- ・ 学生の意欲の維持向上、資格取得への取り組み、学習環境の整備、就職率の維持など、細やかに対応されていると思います。続くコロナ禍で、実習・実技・見学等が制限される状況ですが、限られた機会を有効に活用して学生に実践学習をさせてあげてください。また、教職員方々の負担も相当大きいと思います。教職員方々の健康が良い教育活動に繋がると考えますので、より一層留意して下さい。
- ・ PC の導入は大変だと思いますが、ピンチはチャンスと捉え、学生の質向上の為に努めて頂ければと存じます。企業側としては学生が PC に親しむ事は良い事であると捉えます。
- ・ 変化が著しい情勢の中、独自の学校運営と指導方法を工夫され、社会のニーズに応えられていると感じています。入学された皆さんが全員、悔いのない思いで卒業され、社会で活躍される事を期待、応援しております。
- ・ 各学科の就職率に表れているように本校に対する企業からの期待が見てとれます、これは学校関係者の皆様の今までの努力の賜物であります。本年度、修成教育研究所を立ち上げて専科.一級建築士科を新設して高い合格率を出しており、次年度も学生の増加が期待できる学科であります。他の学科や専科.二級建築士科での資格取得率も高いレベルであったと思えます企業も資格取得して卒業する学生を望んでおりますので学校関係者の皆様には今後も学生のレベル向上に努めて頂き多くの優良企業へ優秀な学生を送り出して貰えるようお願い致します。
- ・ 大阪市において 2025 年関西万博が開催されます。本校でも最近、大工希望者の学生が増加する傾向で大工技能検定やD I Yアドバイザーの資格取得に向け努力していただきたいと思えます。

以上